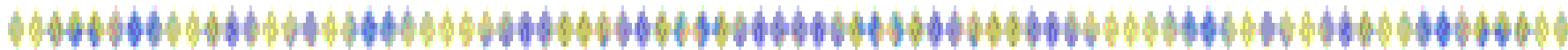


JAバンク岡山における 地域密着型金融の取組状況 (平成29年度)

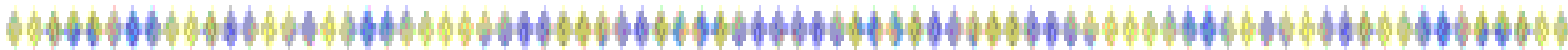
平成30年8月
農林中央金庫岡山支店



JAバンク岡山(JA・農林中央金庫岡山支店)では、農業と地域社会に貢献するため、平成25～27年度に続き、平成28～30年度JAバンク岡山中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成29年度の地域密着型金融取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

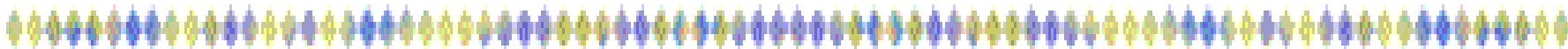
目次



- I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 … P. 4
- II 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 … P. 10
- III 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底 … P. 12
- IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献 … P. 13

I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 (地域農業者との結び付き強化、地域活性化への取組み)

(1) 農業融資商品の適切な提供



- JAバンク岡山は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成30年3月末時点のJAバンク岡山の農業関係資金残高(注1)は112億円、日本政策金融公庫等の受託貸付金(注2)残高は103億円となっています。

(注1) 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク岡山が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

農業融資残高(営農類型別)

【営農類型別農業資金残高】

単位:百万円

営農類型	平成30年3月末
農業	10,322
穀作	3,677
野菜・園芸	954
果樹・樹園農業	470
工芸作物	11
養豚・肉牛・酪農	1,240
養鶏・鶏卵	107
養蚕	0
その他農業(注1)	3,863
農業関連団体等(注2)	898
合計(注3)	11,219

(注)

- 1 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。
- 2 「農業関連団体等」には、JA等が含まれています。
- 3 単位未満四捨五入によるため計に一致しません。

農業融資残高（資金種類別）

【資金種類別農業資金残高】

単位：百万円

種 類	平成30年3月末
プロパー農業資金(注1)	4,294
農業制度資金(注2)	6,925
農業近代化資金	1,135
その他制度資金(注3)	5,790
合 計	11,219

(注)

- 1 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているものをいいます。
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金を融資するもの、②地方公共団体が利子補給などを行うことで低利で融資するものを対象としています。
- 3 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位：百万円

種 類	平成30年3月末
日本政策金融公庫資金	10,285
その他	0
合 計	10,285

(注)

JAバンク岡山では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 (地域農業者との結び付き強化、地域活性化への取組み)

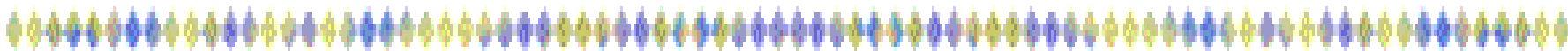
(2) 担い手のニーズに応えるための取組み



- JAバンク岡山では、地域の農業者との関係を強化・深耕するための体制整備に取り組んでいます。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、農業融資に関する相談対応を実施しています。また、県内全てのJAに合計57名の「担い手金融リーダー」を設置し、本支店の活動をサポートしています。
- 農林中金岡山支店では、「県域農業金融センター機能」として、農業法人等への融資相談機能のほか、JAの農業融資機能強化に向けた取組みを様々なかたちでサポートしています。

I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 (地域農業者との結び付き強化、地域活性化への取組み)

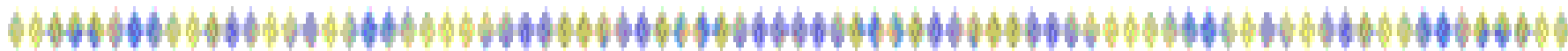
(3) 農業法人等とのコミュニケーション強化の取組み



- 農林中金岡山支店は、JAバンク岡山を代表し、岡山県農業経営者協会への加盟を契機に、地域農業の有力な担い手である農業法人等の経営者の皆さまと活発に交流を深めています。
- 農業法人等の経営者の皆さまからは、資金のご相談に限らず、JAバンク岡山が今後果たしていくべき役割等についても貴重なご意見をいただき、JAバンク岡山の業務運営に活かしています。

I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 (地域農業者との結び付き強化、地域活性化への取組み)

(4) 担い手の満足度向上に向けた取組み



- 農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、農業者向けに農業金融にかかるアンケート調査を実施しております。
- 結果を活用しながら、農業者の声により応えることができるよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいきます。

Ⅱ 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 (担い手のサポートに向けたライフステージに応じた取組み)

(1) 次世代農業者の育成支援

- JAバンク岡山では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

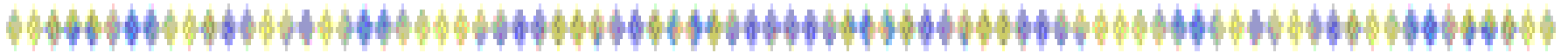
【平成29年度 新規就農者をサポートする資金の実績】 単位：百万円

	実行件数	実行金額	平成30年3月末残高
青年等就農資金	35	97	177
就農支援資金	0	0	171
合計	35	97	348

- 平成22年度から、JAバンクアグリサポート事業の一環として、新規就農支援事業を創設し、新規就農希望者(研修生)の育成を行う農家等に対して費用助成を実施しています。また、平成27年度からは、研修生を受け入れる農家に対しても、受入費用の助成を実施しています。

Ⅱ 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 (担い手のサポートに向けたライフステージに応じた取組み)

(2) 経営不振農家の経営改善支援



- JAバンク岡山では、負債整理資金の対応等を通じ、経営改善・再生にかかる支援に取り組んでいます。

【平成29年度の農業者の経営改善支援等の取組実績】

	期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち			事業計画 策定率 a/A	ランクアップ 率 b/A
		再生 計画を策定し た先数 a	期末に債 務者区分がランク アップした先数 b	期末 債務者区分 が変化しな かった先数 c		
正常先	8	0	/	2	0.0%	/
要注意先	0	0	0	0	0.0%	0.0%
破綻懸念先	4	1	0	4	25.0%	0.0%
実質破綻先	2	0	1	0	0.0%	50.0%
破綻先	1	1	0	0	100.0%	0.0%
合計	15	2	1	6	13.3%	6.7%

Ⅲ 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底（経営実態やニーズに適した取組み）

【負債整理資金による経営支援】

- JAバンク岡山では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成29年度 負債整理資金実績】 単位:百万円

	平成30年3月末残高
畜産特別資金	19
その他	79
合計(注1)	99

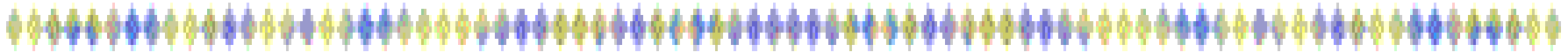
(注)

- 1 単位未満四捨五入によるため計に一致しません。

・畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金です。

IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村 等地域育成への貢献(地域社会へ貢献するための取組み)

【食・農への理解促進】



- JAバンク岡山では、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、農業に関する教材の配布や農業体験学習の受入れなどに取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAを通じて平成29年度には県下の小学校へ、約2万冊を寄贈し、学校の授業等において活用されています。
- 県内各地のJAでは、食農教育などの実践活動が取り組まれており、これらの取組みに対して、JAバンクアグリ・エコサポート基金から費用助成を行ってサポートしています。